

# 数字で見る令和4年中のいばらき消防指令センター【統計データ】

## ○概要

いばらき消防指令センターは、県内20消防本部(33市町)による消防指令業務の共同運用を行っています。管轄人口約200万人から、年間約13万件もの119番通報を受信し、消防部隊への出動指令を行っています。

「災害対応の窓口」である消防指令センターは、住民と消防を繋ぐ重要な役割を担っており、あらゆる災害から住民の安全安心を確保するため、24時間体制で機能しています。

図1 いばらき消防指令センター概要



## ○概況

令和4年中の119番受付件数は131,091件、前年比15.9%の増加で過去最多となり、これまでの令和元年度の122,165件の記録を更新しています。

1日に平均すると約360件、1時間に平均すると約15件。およそ4分に1件の割合で対応していたことになります。その他警察機関や各事業所からの通報にも対応しています。

## ○業務内容

### 1 受付指令業務

いばらき消防指令センターでは、119番通報のほか、各種緊急通報を受信しています。住民からの通報内容を基に災害種別を判断し、最適な消防部隊を編成し、出動指令を送出します。

### 2 災害管制業務

消防隊、救急隊に対して、消防救急無線により出動指令、情報提供及び支援業務を行います。119番通報の内容から、現場の状況を判断し、必要に応じて医療機関や防災機関に出動要請をします。

## 図2 業務内容

### 受付指令業務

いばらき消防指令センターでは、119番通報のほか、各種緊急通報を受信しています。住民からの通報内容を基に災害種別を判断し、最適な消防部隊を編成し、出動指令をします。

### 災害管制業務

消防隊、救急隊に対して、消防救急無線により出動指令、情報提供及び支援業務を行います。  
119番通報の内容から、現場の状況を判断し、必要に応じて医療機関や防災機関に出動要請します。

統2

**各種緊急通報** 各種緊急通報として、NET119緊急通報システム、FAX119、Live119があります。

### ①緊急ネット通報システム

聴覚や言語に障害のある方のための緊急通報システムです。スマートフォン・携帯電話のインターネット接続機能を利用して、簡単な操作で素早く119番通報することができます。

### ②ドクターヘリ (DH)

救命用医療機器を装備したヘリコプターです。消防機関等からの出動要請に基づき、救急医療の専門医・看護師が同乗して救急現場に向かいます。医療機関に搬送するまでの間、患者に救急医療を行うことができます。

### ②119番ファクシミリ通報

聴覚や言語に障害のある方のための緊急通報システムです。FAX通信により、文字やイラストで通報内容を伝えることができます。

### ②ドクターカー (DC)

救急車にある医療設備等に併せ、医師本人を現場に運ぶ車両です。傷病者への治療に一刻を争う場合、医師が直接現場に向かうことにより、より早く治療を始めることができます。また、治療を継続しながら病院搬送することも可能です。

### ③映像通報システム

スマートフォンからの119番通報者に動画の送信を依頼し、消防隊到着前に現場の映像を指令センターで受信、確認することができます。迅速な災害現場の情報把握や、119番通報者への正確な口頭指導を実現し、より確実な消防・救急活動に繋がります。

### ③ラビットカー (RC)

心臓停止などの重症患者の治療をいち早く行うため、医師、看護師及び救急医療資器材を乗せて救急現場に出動する緊急車両です。

### ④防災ヘリコプター (防ヘリ)

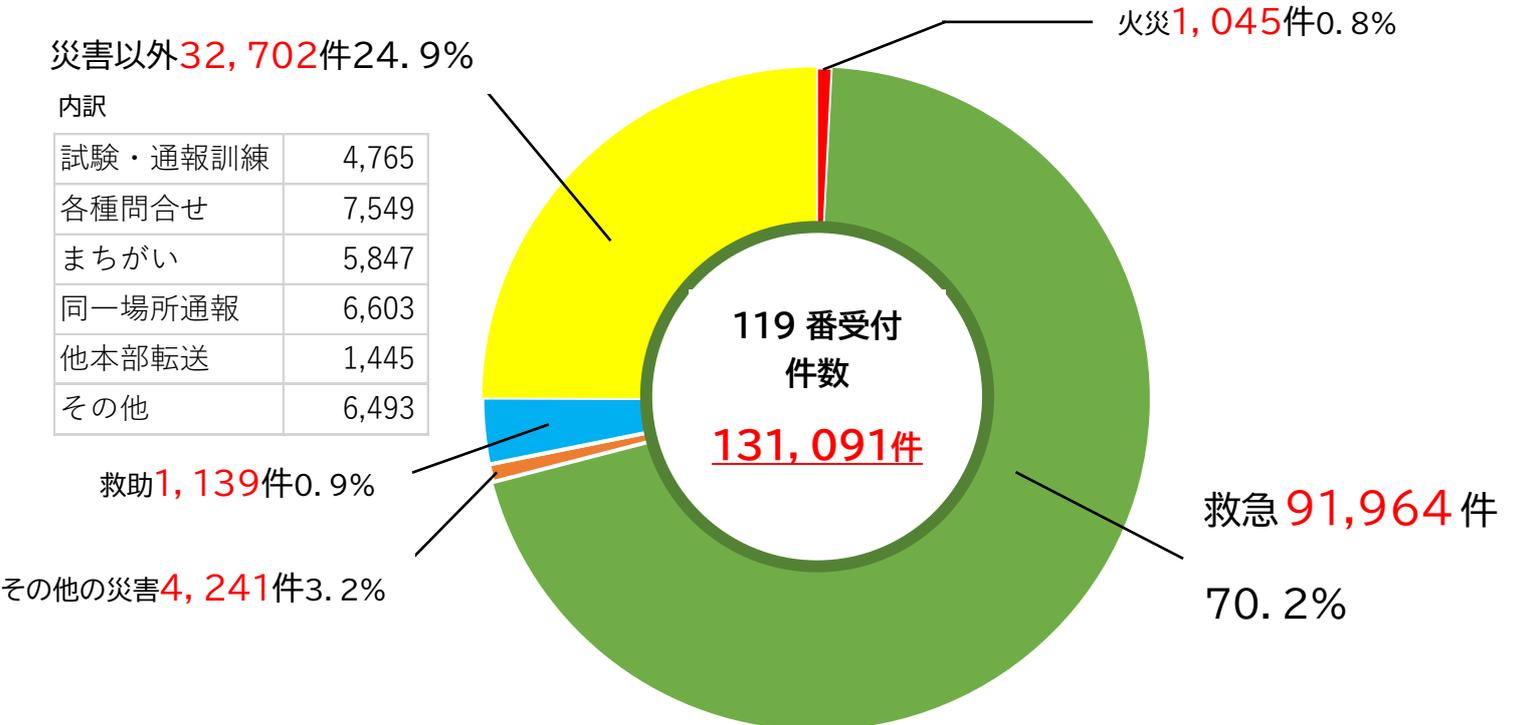
ヘリコプターの機動力を活かし、空から多種多様な災害に対応するため、茨城県防災航空隊が運用しています。状況に応じドクターヘリの補完的運用も行います。

## ○通信指令業務の現況

### 1 通報の内訳

令和4年中119番受付件数131,091件の通報の内訳は、救急が91,964件で最も多く、全体の70.2%を占めています。通報訓練や病院問合せ、まちがい電話等を除いた有効受付件数は、98,389件(前年比18.4%増加)となっています。

図表1 令和4年中の災害種別ごと119番通報件数



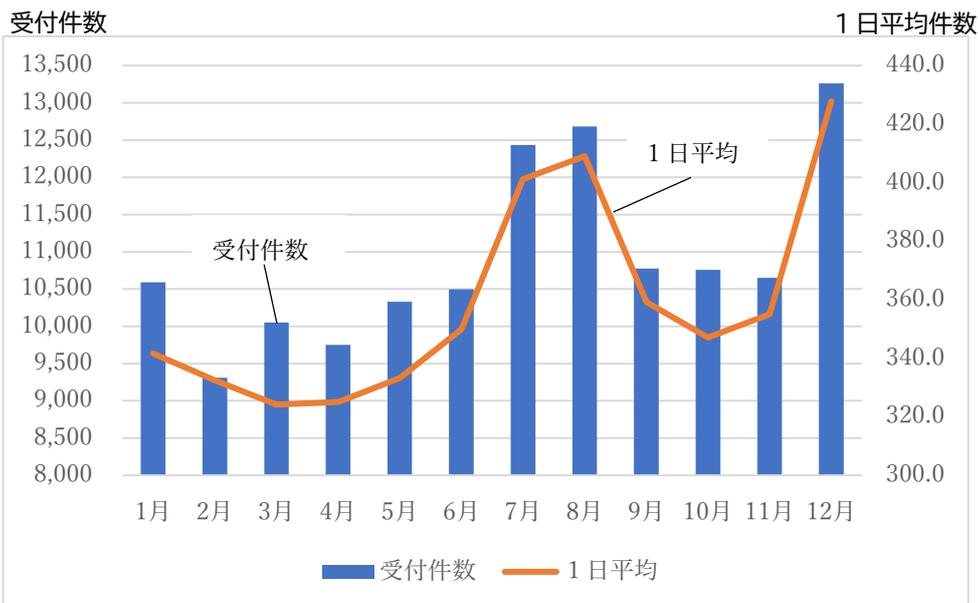
## 2 月別・時間帯別受付件数

### ア 月別受付件数

月別で最も119番受付件数が多かったのは、12月の13,262件、次いで8月の12,681件となっています。

図表2 月別受付件数

月	受付件数	1日平均
1月	10,592	341.7
2月	9,308	332.4
3月	10,049	324.2
4月	9,750	325.0
5月	10,329	333.2
6月	10,497	349.9
7月	12,436	401.2
8月	12,681	409.1
9月	10,777	359.2
10月	10,758	347.0
11月	10,652	355.1
12月	13,262	427.8
合計	131,091	359.2

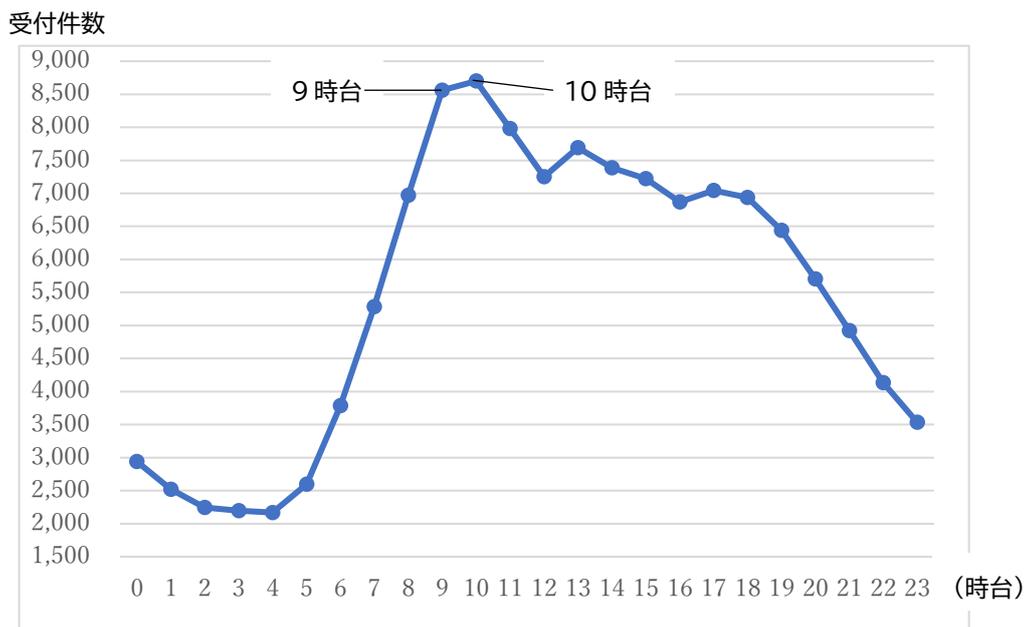


### イ 時間帯別受付件数

時間帯別で最も多かったのは、10時台の8,699件、次いで9時台の8,563件となっています。

図表3 時間帯別受付件数

時間帯	受付件数	構成比
0時台	2,942	2.2%
1時台	2,521	1.9%
2時台	2,247	1.7%
3時台	2,196	1.7%
4時台	2,169	1.7%
5時台	2,598	2.0%
6時台	3,785	2.9%
7時台	5,285	4.0%
8時台	6,971	5.3%
9時台	8,563	6.5%
10時台	8,699	6.6%
11時台	7,980	6.1%
12時台	7,253	5.5%
13時台	7,692	5.9%
14時台	7,385	5.6%
15時台	7,220	5.5%
16時台	6,868	5.2%
17時台	7,042	5.4%
18時台	6,937	5.3%
19時台	6,441	4.9%
20時台	5,706	4.4%
21時台	4,920	3.8%
22時台	4,135	3.2%
23時台	3,536	2.7%
計	131,091	100%



## ウ 日別最多受付件数

令和4年中で最も多かった日は、12月31日(土)の583件、次いで8月14日(日)の529件となっています。

平成28年からの記録によると、台風による水災発生時や積雪による転倒受傷、また、猛暑時の熱中症や新型コロナウイルス感染症の流行などの影響により、通報件数が増加する傾向があります。

図表4 日別上位受付件数(台風,大雪関連5位,熱中症,コロナ関連5位)

順位	年月日	受付件数	気候の特徴(水戸)
1	令和元年9月9日(月)	766	台風通過 暴風雨後曇り 最高気温33.4℃
2	令和元年10月13日(日)	693	前日台風通過 晴れ 最高気温27.1℃
3	平成30年10月1日(日)	678	前日台風通過 晴一時薄曇 最高気温32.9℃
4	平成30年10月5日(金)	556	台風接近 曇後一時雨 最高気温22.9℃
5	平成30年1月22日(月)	520	曇後大雪 最高気温3.0℃ 最低気温-1.5℃

順位	年月日	受付件数	気候の特徴(水戸)
1	令和4年12月31日(土)	583	晴れ一時曇り 最高気温10.9℃ 最低気温-2.6℃
2	令和4年8月14日(日)	529	曇一時雨後一時晴 最高気温32.8℃ 最低気温23.9℃
3	令和4年8月15日(月)	518	曇時々晴 最高気温31.3℃ 最低気温23.3℃
4	令和4年8月18日(木)	514	雨後晴時々曇 最高気温30.5℃ 最低気温22.6℃
5	令和元年9月19日(木)	508	曇一時雨後晴 最高気温25.7℃

## エ 地域別受付件数

地域別では、水戸市消防局管内(水戸市,城里町)が22,044件(1日平均60.4件)で最も多く、次いで茨城西南広域消防本部管内(古河市,下妻市,坂東市,常総市の一部,八千代町,五霞町,境町)の19,131件(1日平均52.4件)となっています。

オ 最近5年間の推移 [HPの年間統計をご参照ください。](#)

## ○その他の統計データ

### 1 携帯電話などからの通報

携帯電話やスマートフォンからの通報は、当センターの119番通報全体の約55%を占めています。

携帯電話やスマートフォンからの通報は便利な反面、通報場所の特定がしづらいため、災害発生場所の聴取に時間を掛ける場合があります。

### 2 口頭指導

口頭指導は、救急要請受信時に、指令員が救急現場付近にある者に、電話等により応急手当の協力を要請し、口頭で応急手当の指導(アドバイス)を行うことです。

令和4年中の口頭指導実施件数は、5,695件です。口頭指導の指導項目別でみると、心肺蘇生法4,105件、次いで止血法1,397件、気道異物除去法84件の順となっています。

図表5 口頭指導実施状況

項目	心肺蘇生法	気道異物除去法	止血法	熱傷手当	指趾切断手当	その他
指導件数	4,105	84	1,397	23	28	58

### 3 映像通報システム(Live119)の活用

スマートフォンからの119番通報者に動画の送信を依頼し、消防隊到着前に現場の映像を指令センターで受信、確認することができます。迅速な災害現場の情報把握や、119番通報者への正確な口頭指導を実現し、より確実な消防・救急活動に繋がります。

令和4年中の実施件数は320件、目的別では現場の状況把握に最も多く活用され230件で全体の71.9%、119番通報の受付対応と並行し、通報者などに応急手当の口頭指導での活用は46件で全体の14.3%となっています。